

おはようございます。今回の一般質問は、命、暮らしを守るまちづくりについてと題して、3項目について伺います。

(1)、環境過敏症について。

化学物質・香料過敏症や電磁波・低周波音過敏症等の環境過敏症が増えています。化学物質過敏症は、原因がシックハウスから柔軟剤、抗菌、消臭剤へと変化しており、特に子どもたちの発症が増えています。空気中に拡散するマイクロカプセルが悪化の原因と言われています。実態を把握し、予防や重症化防止等の対策を検討すべきです。

ア、化学物質・香料等過敏症の実態把握について。

質問1、保育園、学童保育所において、香料、抗菌、消臭剤等による体調不良等についての相談があるでしょうか。

質問2、小・中学校において、香料、抗菌、消臭剤等による体調不良等についての相談があるでしょうか。

質問3、保育園、学童保育所において、子どもたちがいる環境での空気中の揮発性有機化合物の濃度測定をすべきです。見解をお伺いします。

質問4、同様に、小・中学校で、児童・生徒のいる環境での空気中の揮発性有機化合物の濃度測定をすべきです。見解をお伺いします。

質問5、保育園、学童保育所において、子どもや保護者への環境過敏症についての実態調査をすべきです。市長の見解を伺います。

質問6、同様に、小・中学校において、児童・生徒や保護者への環境過敏症についての実態調査をすべきです。教育長の見解をお伺いします。

イ、環境過敏症の予防・重症化防止対策について。

化学物質過敏症にならないように、あるいは症状を悪化させないようにするには、揮発性の化学物質に大量に、あるいは長時間、さらには頻繁にさらされないようにすることしかありません。学校や保育園といった子どもたちが長時間過ごす場を、できるだけ発症の引き金となる揮発性有機化合物などが少ない状態を保てるように環境整備することが大事だと考えます。

質問7、保育園、学童保育所で使用するタオル、職員のエプロン、昼寝用シーツ等への香料、抗菌、消臭剤等の使用を控えるべきです。市長の見解を伺います。

質問8、同様に、小・中学校において、例えば共用の給食用エプロンへの香料、抗菌、消臭剤使用を控えるよう周知する、または共用としないことにすべきです。教育長の見解をお伺いします。

質問 9、保育園、学童保育所の職員、保護者に対して環境過敏症への理解を促進し、保育室内での揮発性有機化合物の量を減らすための工夫をすべきです。市長の見解をお伺いします。

質問 10、同様に、小・中学校の児童・生徒、教職員、保護者へ環境過敏症への理解を促進し、教室内での揮発性有機化合物の量を減らすための工夫をすべきです。教育長の見解を伺います。

(2)、三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業について。

5月11日、独立行政法人都市再生機構、URは、新たな賃貸住宅、三鷹駅前住宅の建設計画についての説明会を開催しました。これは、中央通りに面して建っている3棟のUR賃貸住宅の代替えとして建設されるものであり、三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業の枠から外して、再開発に先行して建設されるものです。

ア、UR賃貸住宅建設計画について。

質問 11、計画されている賃貸住宅の建物概要、建設場所、敷地面積、高さ、階数、戸数、完成時期をお伺いいたします。

質問 12、この賃貸住宅の建設による周辺環境、景観、日照等への影響をどのように捉えているでしょうか。

イ、三鷹駅南口中央通り東地区再開発に及ぼす影響について。

質問 13、中央通りのURの建物3棟は先行して取り壊すのでしょうか。

質問 14、三鷹駅南口中央通り東地区再開発の対象面積が1.5ヘクタールから減少することになります。どのような影響があるでしょうか。

質問 15、三鷹駅南口中央通り東地区再開発の今後の計画及び日程に対して、どのような影響があるでしょうか。

質問 16、三鷹駅南口中央通り東地区再開発についての今後の見通しについて、市長の見解を伺います。

(3)、東京外環道路工事について、連続31回目の質問をいたします。

ア、中央ジャンクション南側ランプシールド工事について。

中央ジャンクション南側のBランプシールドマシンは、現在、発進立て坑から14メートルのところ段取り替えのために停止しています。

質問 17、Bランプトンネルシールドマシンが仙川の下を通過するのは、何日頃になる予

定と聞いているのでしょうか。

Bランプシールドマシンは、仙川の川底から僅か5メートル下を斜めに横切る予定です。川底の地層は、水や空気を通しやすい礫層です。

質問 18、仙川に気泡や添加剤の漏出があり得ると事業者は説明しています。それは、工事ヤードの外に、工事で使う材料などが漏出するということです。単なる水ではなく——天然由来と言っていますが、ベントナイト、地盤改良剤は、本来、環境に放出されていいものではありません。ベントナイトの混じった土は、そのまま土として再活用することはできず、産業廃棄物として扱う必要があるものです。そういう地盤改良剤が環境中に放出されるのです。環境汚染を前提とする工事を許容してはなりません。市長の見解を伺います。

質問 19、事業者は、掘削予定地域の路面下空洞調査を行っています。結果は公表されているのでしょうか。三鷹市は、その結果を受けて、どのように対応したのでしょうか。

質問 20、低周波音振動について、周辺住民から要請があれば、市独自で測定し、結果を公表すべきです。市長の見解を伺います。

イ、住民監視・盗聴・盗撮報道について。

3月、4月と2回、調布陥没地域周辺において、住民への監視、盗聴、盗撮行為があると報道されました。事業者は、礼節を欠いた言葉遣いがあったことはホームページ上で謝罪しましたが、監視行為等をやめるとは明言していません。3月に市長は事業者と面談したと聞いています。

質問 21、住民に対しプライバシー侵害が行われていたこと、今後行わないことを市長は事業者を確認したのでしょうか。

質問 22、4月の追加報道では、付きまとい等が工事現場周辺だけではないことが明らかになりました。中央ジャンクション工事現場である仙川周辺でも付きまといは発生しています。事業者の態度を改めさせることが必要です。市長の対応を改めて確認します。

以上で壇上での質問を終わります。自席での再質問を留保いたします。よろしく願いいたします。